

チューニングをはじめる前に

セーリング中、常に最適のセールシェイプを得るためには、その時々コンディションに応じたマストのチューニングを行うことが大切です。そのためには基本的なボートのチューンアップが重要になってきます。チューニングをはじめる前には、まずマストが左右対象に立っているか、ラダーやセンターボードにガタがないかなどをチェックし、常に正確なデータが得られるようにして下さい。ここに書かれているデータは、ノースセールのFJセール、R14AP、R7AP、J5APを使用したときのものです。チューニングを行う上で、これらのデータをガイドラインと考え、体重やマストの種類等に応じて、各々のチームに合った最適のセッティングを見つけて下さい。(尚、このチューニングガイドは予告なく変更する場合がございますので、ご了承下さい。)

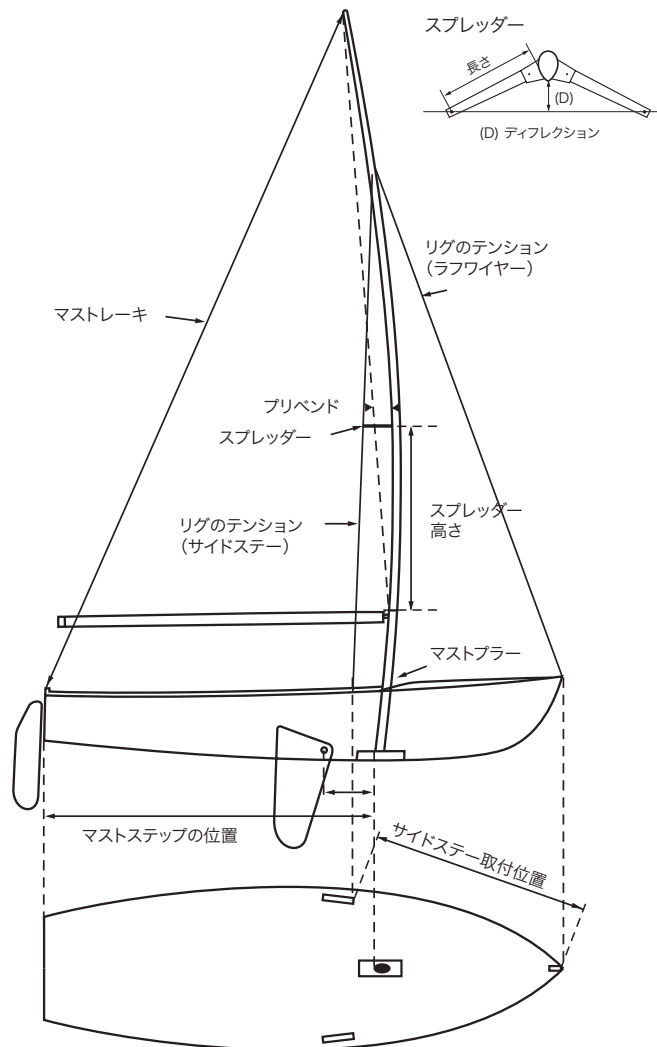
最新のチューニングに関するお知らせ

近年ノースセールジャパンではFJ級のセーリングテストを繰り返し行ってきました。出来るだけ後方のマストステップを適切に使用することで、より速くクロスホールドをセーリング出来る事が解明されております。新タイプのボートと従来のボートでは、マストステップ、サイドステーのセッティングが異なりますので、間違えないよう注意してお読み下さい。

Sail Setting セールセッティング

フルバテン

フルバテン仕様のセールは、トップバテンが微軽風時のタッキングやジャイピングの際、返らない事があります。そのような時に、バテンのテンションを少しゆるめにセットすると返りやすくなりますが、フルバテン仕様のセールではバテンを返すコツを習得することが非常に大切です。順風や強風でバテンのテンションが足りないとセールのフライングシェイプがくずれの原因となりますので、バテンのテンションには常に注意を払いましょう。



Mast Setting

マストセッティング

マストステップ、サイドステー取付位置

< 従来のボート >

可能な限り後方のマストステップ(※1)を使用します。スプレッダーの適切なディフレクション(最低130mm以上)を維持しサイドステー及びジブハリヤードテンションのバランスをとる為、より後方のサイドステー取付位置を使用します。(最も後方のチェンプレートベースは使用しない)

※1 可能な限り後方のマストステップ位置とは以下の条件をクリア出来る最も後方の位置です。

- ・マストレーキ、プリバンド、サイドステーテンション、ラフワイヤーテンション、スプレッダー長さ、スプレッダーディフレクションがマストセッティングデータの範囲に収まっている。
- ・プレーを最大に入れた時、マストパートナーから後方にマストが2cm以上出ない。
- ・センターボードケースにマストが当たらない。

最新のチューニングを行う際の注意事項

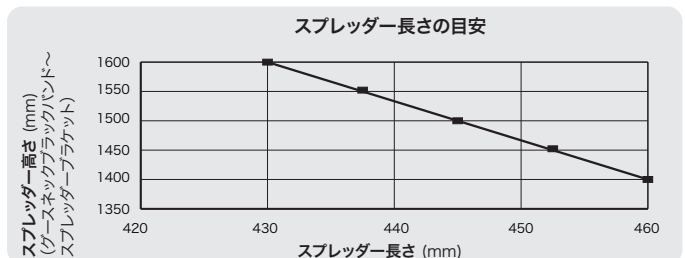
従来のボートでマストステップを下げ過ぎた場合、次のような問題が発生する場合があります。

- ・ジブハリヤードテンションを22~25の間にセットしたにも関わらずサイドステーのテンションが37以上となり艇が破損する
- ・サイドステー取付位置を後方に下げる為サイドステーチェンプレートベースの最も後方の穴を使用した際ベース及び艇が破損する。
- ・適切なプリバンドにセットした際、スプレッダーディフレクションが130mm以下となりスピネーカーを上げてセーリングした際にマストが逆バンドする。

マストセッティングデータ

	新タイプボート	従来のボート
サイドステー取付位置 (ラフワイヤーピン~ サイドステーピン)	1910-1930 mm	1850-1870 mm
マストステップ	2480-2500 mm	2560-2580 mm
マストレーキ	5820~5830mm	
プリバンド R7AP	40~45mm	
R14AP	50~55mm	
サイドステーテンション ※	31~34	
ラフワイヤーテンション ※	22~24	
スプレッダー長さ	下表参照	
スプレッダーディフレクション	130~165mm	

※ テンションは、Loose Model PT-1 Metricテンションゲージを用いた場合の数値です。



< レーキを増やしたい時は? >

サイドステーのピンを上げフォアステーのテンションが同じになるようにジブハリヤードを引きます。この時プリバンドが同時に少なくなるので、スプレッダーを後ろに振ってプリバンド量を合わせます。レーキを減らす時は逆の事をを行います。

< プリバンドを増やしたい時は? >

- ・スプレッダーのディフレクションを増やす
- ・リグテンションを増やす
- ・サイドステーの前後位置を前に移動する
- ・マストステップを後ろに移動する
- ・プリバンドを減らすには、逆の事をを行います。

FJ Quick Tuning Guide 2009



Trimming Table セールトリム一覧表

風速	0~1m/s	2~4m/s	4~6m/s	6~9m/s	9m/s以上
マストレーキ	5820~5830mm	5820~5830mm	5820~5830mm	5820~5840mm	5780~5800mm
マストブラー	R14	0 ニュートラル (バングをかけないコンディション)	0 mm (バングをかけない) 5 mm (バングをかける)	+0.5 ~10 mm	+0.5 ~10 mm ジブハリのテンションを緩める。 フォアが21~22(サギングを防ぐためジブタックを強く引く)
	R7	0 mm	5~10 mm 10 mm (バングをかけない) 15~20 mm (バングをかける)	15~20mm	15~20mm ジブハリのテンションを緩める。 フォアが21~22(サギングを防ぐためジブタックを強く引く)
ブームの位置	艇の中心線よりブーム 3~4コ分出す	ブームはセンターライン上に位置させる		ブームはセンターから ガンネル後方の コーナー付近の間	ブームはガンネル後方の コーナー付近で トリムする
メインのリーチ テンション	トップバテンのリーチ側1/3とブームが平行になるようトリム (リーチリボンは できるだけ流す)			トップバテンのリーチ側1/3とブームが平行になる状態から 風速の増加に伴い開いてゆく	
ブームバング	バングは引かない			ブームをセンターに維持出来なくなったら引き始めて 風速に応じてメインセールのリーチを調節する	
カニンガム	カニンガムは引かない(メインシートトリムでオーバーパワーになるまで)			ラフの大きな しわが取れる 程度に引く	風速の増加に応じて 徐々に引く量を増やしていく
アウトホール	ブラックバンドより約15mm出す(波のある海況では20~30mm) メインタックはマスト後面より15~20mm離す			ブラックバンドいっぱい引く (ブームがコンスタントにオフセンターになったら メインタックはマスト後面にぴったり付ける)	
ジブトラック	トリムラインとジブシートが一直線になるワンポイント			ブームがコンスタントに オフセンターになったら 4~6cm後方へ	風速の増加に伴い 5~10cmの範囲で後方へ (マストがアフターレーキ するとジブのリーチは開く)
ジブタック	ジブのラフのしわがちょうどとれる程度に軽く引く			徐々に引く量を増やす	強く引く